



## 第3班 到着日から夜勤で奮闘!

被災地に向かう途中、海外メディアに取材を受け、隊長の関根医師は第1班から聴いていた情報を伝えました。以下到着した現地からのメールです。

『こちらは、雪です。寝る場所はかなり冷えます。毛布などは役にたってます！

記憶の中では、夜中に余震が三回。

七階で寝てる所以で揺れで起きてしまう感じです。

看護師の木村さん、伊藤さんは、昨夜急遽夜勤のお願いがあり、活動しています。』

## マスコミ9社が取材に

## 埼玉県からの情報

昨日(3/16)に第1班支援隊の帰還を取材した9団体のうち、東京新聞、毎日新聞、読売新聞で本日報道されました。明日も掲載の予定です。

他にもNHKで計画停電による影響を埼玉西協同病院が受け、朝のニュースで放映されました。

さいたま市内の放射線量を測定し定期的に更新しています。

埼玉県ホームページアドレスは以下↓

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/housyasenryou.html>

\*「埼玉県ホームページ」でも検索可能。トップページにあります。

## 通勤困難…うちに泊まって！

### 《上福岡地区》

#### 組合員さんのあたかい気持ちが続々と

①昨日から診療所に泊まり込みをしている事務長の様子を組合員さんが知り、先ほど夕食を診療所まで持ってきました。食材の入手が困難な中、温かい手作り弁当を届けてくれた想い、うれしいです。

診療所で泊まるなら、私(組合員)の家に泊りなよとの話も出ていました。

②用紙の購入も困難ななか、職員間で相談していた際、この話のやりとりを聞いていたのか、組合員さんが自宅にあった紙を診療所へ「診療所業務に使用してほしい」とA4用紙2束を持参してくれた。とてもありがたい出来事。貴重な資材大切に使わせていただきます。

組合員さんの温かい想いに職員みんながとても嬉しい気持ちでいっぱいになりました！困難は続くけど明日も頑張れる！！

事業所では

③災害時の避難場所などが掲載されている「ふじみ野市防災マップ」を診療所の玄関ドア、待合室掲示板に昨日より張り出したところ、通りかかる方たちが目にとめてくれている。中には自分の住んでいる地域の避難場所がどこなのかとメモを取られている方もいた。

地域住民へのちょっとした情報発信になったと思います。

# 救援募金 今できることを最大限やらねば！

## 《おおみや地区》

昨日から「救援募金」を開始しました。職員間では事務長より回覧で回り、相当額が集まり始めています。診療所待合室にも、大きなポスター掲示と受付に募金箱を設置しました。

仙台に住んでいる私の義父・義母も避難生活をしていて、高齢で持病もあるのでとても心配です。

埼玉に住んでいる私たちも、度重なる余震や原発事故など多くの不安がありますが、今、もっと「命の危機」にさらされている方々に、埼玉から出来ることを最大限やらねば！

「支援物資」を求む呼びかけを医療生協の組合員ネットワークを活かし、支部総会・運営委員会でも提起し、4月の支部ニュースからも呼びかけようと思います。

引き続き  
支援物資・義援金のご協力  
お願いします。

特にガスコンロ・ポンベ！

## 《さんとめ地区》

募金箱を設置し呼びかけを行なっています。昨日東富岡支部で総会のための臨時の運営委員会が開かれ、その中で呼びかけた結果、明日18日に年金者組合の集まりがあり、その中で組合員さんを通じて募金の協力を呼びかけてもらえることになりました。また今後緊急で（まだ話は固まっていますが）駅頭募金活動を計画しようと考えています。出来る限りの支援を行いたいと思います。

# 宮城・古川民主歯科の現地報告

東北・関東大震災の報告をいたします。

私自身震災当日は、出張で大阪に居たこともあり、古川へ戻ったのは3月13日の夜でした。

現在古川は、雪が降っており吹雪いています。病院事態は電気・ガス・水道は復旧していますが、地域の電気・ガス・水道の復旧状況は復旧状況の差が出ています。全国から電気・救急支援が来ており、当歯科が所在する地域では中部電力のみなさんが、昼夜にわたって復旧作業にあたっています。

しかしながら、食料不足はもとより、ガソリンの供給不足は、職員の通勤や患者搬送、訪問看護関係に大きな障害となっています。当地域は車通勤者が大多数のためガソリンが不足し明日から勤務に就けない職員が発生している状況です。電気・ガス・水道は復旧したがマンパワーが確保できない状況です。

## 「ガソリンが欲しい…」

医療支援では、全国の民医連の仲間が支援に駆けつけています。全国の機敏な対応で現地も励まされているところです。

歯科の分野でも、東京・相互歯科よりハブラシ600本他口腔関係の支援物資を送っていただき、坂病院での震災被害者支援に使わせていただきます。ありがとうございます。

現地歯科職員も医療確保と復旧に向けて団結してがんばっています。全国の歯科のみなさんよろしくお願いいたします。

《宮城・古川民主病院歯科 熊谷事務長のメールより 2011.3.15》